

## (一社)宮城県精神科病院協会は 県立精神医療センターの移転新築用地として「応急仮設住宅箱塚桜団地跡地」を提案します。

(一社)宮城県精神科病院協会では、以前から名取市での新築を提案しています。宮城県医療審議会病院部会 (R5.9.4) で、現有地向かいの「仮設住宅跡地」を提案しましたが、 県側から以下の理由で「不適」とされました。

- ①敷地へのアクセス道路が非常に狭あい
- ②表の道路(県道)との高低段差がかなり高く、乗り入れのためのスロープ等に面積を取られる。
- ③周辺が住宅密集地で、精神科の救急搬送等に不向き
- ④面積が12,000㎡で建て替え場所として手狭

### それに対する意見

- ①「アクセス道路が非常に狭あい」  
仮設住宅跡地(病院機構所有地)への進入路は狭いが、登記簿から県道と病院機構所有地の間に「県有地」があり、その土地が利用できれば、新病院の出入口として活用でき解決できる。
- ②「表の道路との高低差があり、スロープ等に面積を取られる」  
設計を工夫すれば対応可能と考える。
- ③「周辺が住宅密集地で、精神科の救急搬送等に不向き」  
県道258号側を出入口と提案しているので、周辺住宅地への影響はこれまでと大きく変わらないと思われる。  
県で候補地としている新病院(富谷市明石上向田)への進入路は、市道460号・市道894号(コンサル資料)で、閑静な住宅地を通行する必要があり、更に、労災病院への救急搬送車も通行する事となり、比較でいえば富谷市候補地の方が問題となると考える。
- ④「面積が12,000㎡で建て替え場所として手狭」  
提案地は名取市土地計画総括図によると容積率は200%で、2万㎡程度の病院は十分に建設できる。予定している病床数は170床程度であり、「宮城県立精神医療センターの今後のあり方に関する報告書」で提案された完全個室の71.4㎡/床で計算しても12,000㎡であり、敷地として十分に利用できる。



②  
がんセンター西側山林  
60.000㎡↑

①  
高等看護学校跡地  
6.700㎡

③  
仮設住宅跡地  
13.000㎡

県立がんセンター

県立精神医療センター

市民野球場

ホームセンター  
ムサン

至仙台方面

名取駅

東北本線

増田小学校

至杜せきのした駅

名取第一中

至愛島方面

Google  
Google Earth

精神医療センター  
かつて384床

リハセンター

調剤薬局

バス停

バス停

仙台方面から

名取が丘団地迂回路

県有地

仮設住宅跡地  
病院機構所有地

中央分離帯あり

愛島方面から

名取が丘団地迂回路

ローソン

アクセス図

